



歴代受け継がれる言葉を前に、佐藤前教育長（左）と中屋敷教育長（右）



新しく教育委員に任命された大角さん。「“生きる力”の備わった子どもが育つ、より良い教育環境づくりのサポートを一所懸命頑張ります」と意気込みを語りました

市教育委員会 新たな顔ぶれで新体制

新教育長に中屋敷史生（前県教育研修センター副所長兼情報・相談課 課長）さん



新教育長
中屋敷史生さん

市民協働で「小林で学びたい、学ばせたい」教育を

西小林中で校長を務めさせていただくなど、通算6年間小林市にお世話になりました。その間、小林市の先導的な取り組みに携わることができ、転任後は、小林市で勤務したことを誇りに思いながら過ごしてきました。これからは、学校教育、社会教育、生涯スポーツなど、市民の皆さまと協働しながら「小林市で学びたい」、「小林市で学ばせたい」と思ってもらえるような高い評価と、信頼が得られるよう精一杯取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

5月9日、臨時議会が開かれ、新しく2人が市教育委員に任命されました。任命されたのは、中屋敷史生さん（前県研修センター副所長兼情報相談課長＝都城市出身）と大角安子さん（栗須小家庭教育学級長＝野尻町三ヶ野山）。10日には、臨時の教育委員会が開かれ、中屋敷さんが教育長に選任されました。任期満了に伴い佐藤勝美教育長（5期10年）と片野裕見子教育委員（1期4

年）は9日付で勇退しました。佐藤さんは、平成16年4月26日から旧小林市の教育長として市の教育行政を牽引。学校教育では、二学期制導入や小中一貫教育、ICT活用や協働の学校づくりなど県内で先導的に実施。社会教育では、生涯学習の充実やエヒアヤメなど文化財の積極的保護、スポーツ分野では、小林元気クラブの設立やクロスカントリーコース設置など多面的に取り組んできました。



前教育長
佐藤勝美さん

小林の教育行政に関わること満10年。「夢と元気と勇気ある小林教育」をキャッチフレーズに市長をはじめ、議員、市職員、学校職員、各種団体など多くの皆さまのお力添えをいただきながら、精一杯小林の教育力向上に尽力させていただきました。誠にありがとうございました。今後とも小林の教育が充実・発展しますよう見守り続けます。

小林の教育の発展を
今後も見守り続けます



3

Photo 1 体験教室で二階堂選手（右）からバッティングの基本を教わる栗須小の児童。2 第1試合日には、肥後市長が始球式で投球し、見事にストライク。3 熱戦を繰り広げる選手らと、盛り上がる観客席。



2



1

4チームの一流プレーに市民ら歓声 小林で日本女子ソフト初開催

第47回日本女子ソフトボールの第1節宮崎大会が、4月26日に市総合運動公園野球場で開幕しました。26、27日の2日間、同野球場で日立、戸田中央総合病院、太陽誘電、デンソーの4チームが対戦。市内外から1800人が訪れ、一流選手のプレーを楽しみました。各試合前には小林西高女子ソフトボール部員や肥

後市長が始球式を行いました。また25日には、栗須小、東方小で体験教室が開かれました。戸田中央総合病院の二階堂夏帆選手、岩崎楓選手が訪れ、児童に投球、守備や打撃の基本を指導。代表し、栗須小6年の長瀬耕大くんが「2人の選手のように、親や周りに感謝して自分も野球を続けていきたい」とお礼を述べました。



6



5



4

小林の特産品を博多でPR 博多駅で小林フェア開催中

JR博多駅シティ（アミュプラザ）「シティダイニングくうてん」で、各飲食店が小林産の食材を使ったオリジナルメニューを提供する「小林フェア」が、5月12日から6月15日まで開催されています。飲食店が軒を並べる「くうてん」の24店舗が、チョウザメ、宮崎牛、マンゴー、野菜やみやぎき地頭鶏といった食

材を使ったメニューを提供。

またフェアに併せ、JR博多駅前広場では「青空マルシェ」も開催されました。チョウザメ寿司、宮崎牛、マンゴー、水や焼酎などが販売されたほか、肥後市長とコスモスレディが小林をPR。福岡市東区の友田航輔くんは、「宮崎牛は初めて食べた。柔らかくてとてもおいしい」と話していました。

Photo 4 5 青空マルシェ（マルシェ＝「市場」）にはチョウザメの水槽、メロンやマンゴーなども展示され、大賑わい。市内でよく見られる乾草も、オブジェ、机やイスに変身。6フロアには小旗が並び、大々的に看板が設置されるなど、会場は小林フェア色に